

佐野日大16年ぶりV

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2026

読者室 028-625-1179

(受付 月～金 午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120(購読)

事業局 028-625-1134(営業)

ビジネス 028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ

<https://www.shimotsuke.co.jp/>

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中!

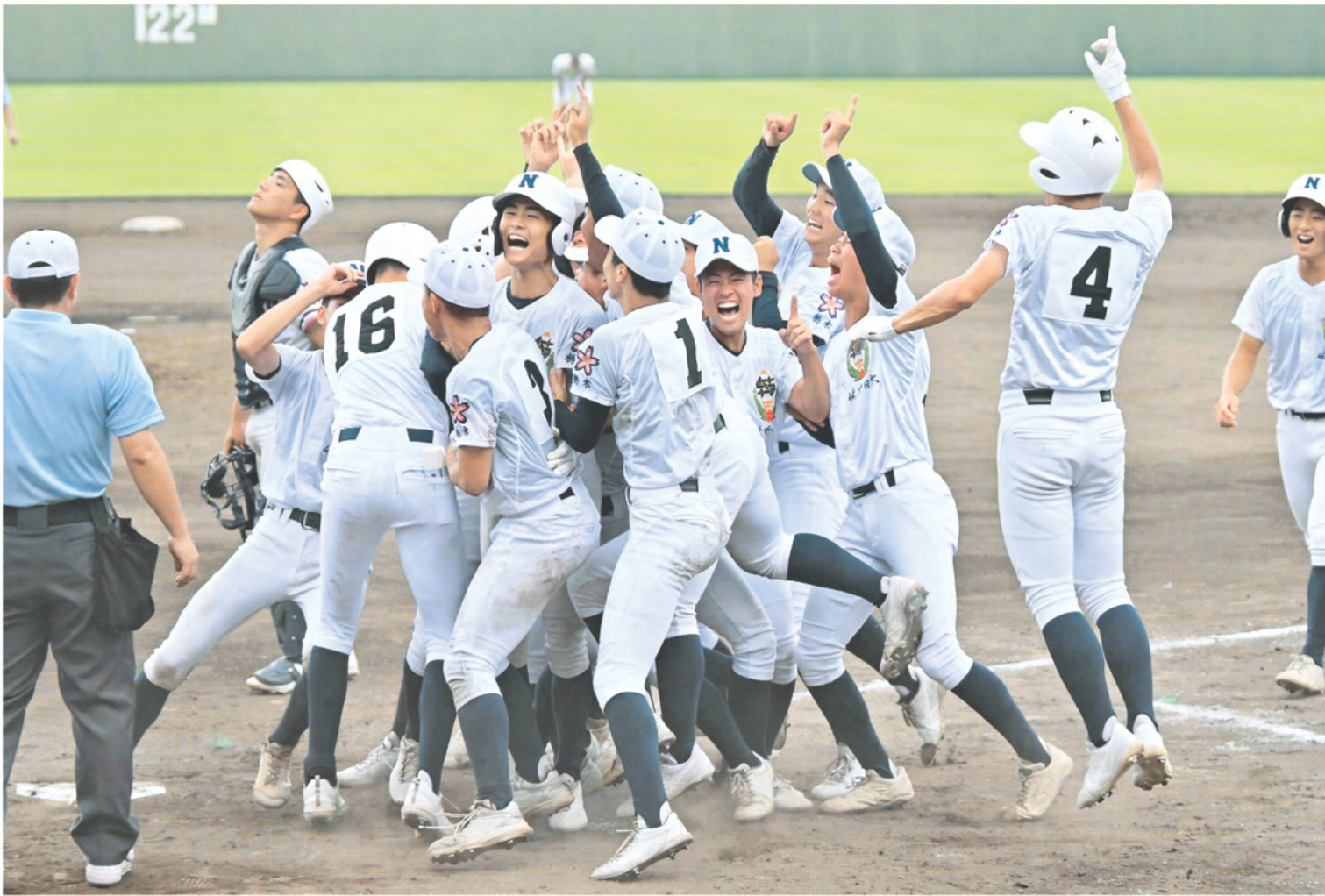
お申し込みは

0120-810081

0120-810081



サヨナラ弾で春夏切符



逆転サヨナラ2点本塁打で優勝を決め、喜びを爆発させる佐野日大ナイン＝エイジエック

高校野球
栃木大会

国学院栃木に5－4 延長十回

第108回全国高校野球選手権栃木大会最終日は26日、宇都宮市のエイジエックスタジアムで決勝を行い、佐野日大が延長十回タイブレーク、小島颯人の逆転サヨナラ本塁打で国学院栃木に5－4で競り勝ち、16年ぶり7度目の優勝と全国大会出場を決めた。決勝のタイブレークは2年連続。決勝がサヨナラ本塁打で決着するのは3年ぶり3度目で、逆転サヨナラ本塁打は大会史上初。佐野日大の春夏連続甲子園出場は1993年以来33年ぶり。会場には7980人(午前9時半時点)が詰めかけ、午前9時3分に試合開始。佐野日大は五回1死一、二塁、杉田侑也の中前適時打で先制。1点を追う九回は2死三塁から桜岡稜万の左前適時打で追い付いた。2点を先行された十回は代打青木裕弥の遊ゴロで1点差に迫り、続く小島の一振りで勝負を決めた。

▽決勝(エイジエック)

国学院栃木	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	
0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
3	x									
5										4

△延長十回タイブレーク
(国)飯塚 橋本 鈴木 池谷(佐)鈴木 須田
▽本塁打 小島(佐)▽二塁打 小島 杉山(国)荒川(佐)



好機に沸く佐野日大応援団

第108回全国高校野球大会決勝の詳しい結果は、27日付の下野新聞をご覧ください。

国学院栃木は1点を追う六回にDH大森選の左前適時打で同点。九回2死二塁から代打渡部煌煌の中前適時打で勝ち越した。十回も敵失で2点を取ったが、リードを守り切れなかった。

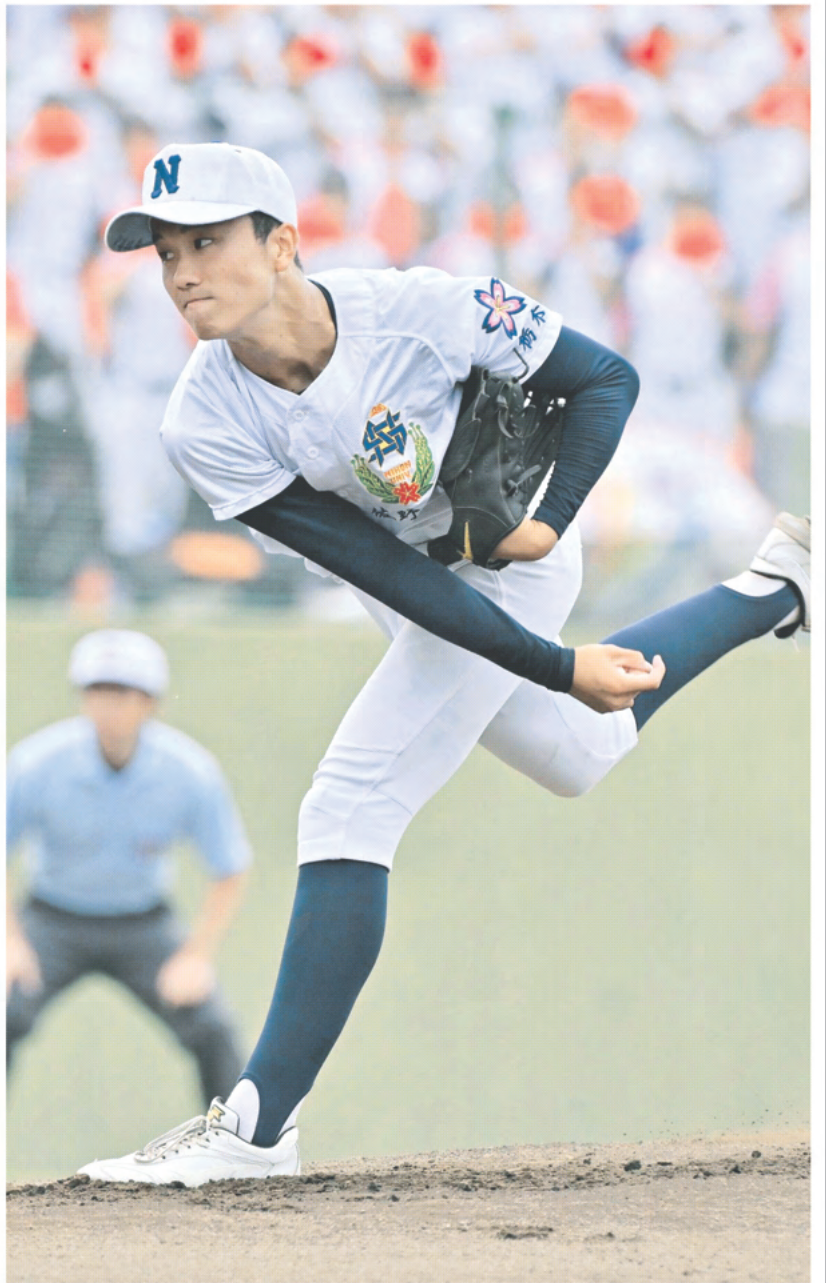
全国高校野球選手権は8月5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選会は8月1日、オンラインで行い、3回戦までの組み合わせを決める。

佐野日大・麦倉洋一監督の話 今はぼーっとして(試合の)すごさにじーんときている。打ち合いでない展開はうちのペースだとは思っていた。(エース)鈴木有が最後までよく投げてくれた。

金子裕佐野市長の話 佐野日大高野球部の皆さん、春夏甲子園連続出場、おめでとうございます。皆さんの活躍は市民に勇気と希望を与えてくれました。佐野市一丸となって、応援いたします。夢の決勝、そして優勝を目指してさらなる活躍を期待しています。



延長10回タイブレーク、佐野日大の小島がサヨナラ2点本塁打を放つ=エイジェック



力投する佐野日大の先発・鈴木



6回、国学栃木の太森の適時打で同点に追い付く



力投する国学栃木の先発・飯原



攻撃時に熱い声援を送る国学栃木応援団